

# 掛川市教育委員会定例会議事録

会議名	平成 31 年 4 月掛川市教育委員会定例会			
場 所	掛川市役所南館 教育委員会室			
開催日時	平成 31 年 4 月 24 日（水） 午後 1 時 00 分から午後 2 時 06 分まで			
出席者	教育長 教育長職務代理者 委員 委員 委員	佐藤嘉晃 戸塚忠治 永田孝明 橋山鈴代 岩尾千佳子	教育部長 こども希望部長 教育政策課長 学校教育課長 社会教育課長 図書館長 教育部政策官 教育政策課教育政策係長 教育政策課教育政策係指導主事 教育政策課教育政策係指導主事	榛葉貴昭 山崎 浩 山梨 実 杉浦雅美 戸塚和美 赤堀賢司 尾崎和宏 水谷忠史 山本加代子 殿岡基弘

## 1 協議事項

- (1) 掛川市放課後児童健全育成事業実施要綱の制定について (資料 1)
- (2) 掛川市立大東学校給食センター及び大須賀学校給食センター調理等業務委託における公募型プロポーザルの実施について (資料 2)
- (3) 平成 31 年度掛川市立公立学校運営協議会委員の委嘱について (資料 3)
- (4) 平成 31 年度「かけがわ教育ディスカッション」について (資料 4)
- (5) 平成 31 年度掛川市就学支援委員会委員の委嘱について (資料 5)
- (6) 平成 31 年度掛川市特別支援教育専門家チーム会議・連携協議会委員の委嘱について (資料 6)
- (7) 平成 31 年度掛川市立小中学校の教育課程について (資料 7)
- (8) 吹奏楽部の持続可能な部活動の在り方について (資料 8)
- (9) 掛川市公民館運営審議会委員の委嘱について (資料 9)
- (10) 掛川市吉岡彌生記念館運営委員会委員の任命について (資料 10)
- (11) 掛川市文化財保護審議会委員の委嘱について (資料 11)
- (12) 掛川市図書館協議会委員の委嘱について (資料 12)
- (13) 平成 31 年度掛川市立幼稚園の教育課程について (資料 13)

## 2 報告事項

- (1) 平成 31 年度教育委員会の事務分掌等について (資料 1)
- (2) 掛川市内小中学校のあらわれについて (資料 2)
- (3) 平成 31 年度掛川市立小中学校図書館について (資料 3)
- (4) 平成 30 年度社会教育課所管施設の利用状況について (資料 4)
- (5) 平成 30 年度掛川市立図書館利用状況について (資料 5)
- (6) 平成 31 年度掛川市立図書館月別事業計画について (資料 6)
- (7) 平成 31 年度移動図書館車巡回予定について (資料 7)
- (8) 掛川市立幼稚園評議員の報告について (資料 8)

## 1 開 会

教育長：教育委員会 4 月定例会を開会する。

## 2 教育委員会 3 月定例会議事録の承認について

意見のあった箇所を訂正することとし、承認された。

### 3 事務報告及び行事予定報告

教育部長から事務報告及び行事予定について、主な事項の説明があった。

### 4 協議事項

- (1) 掛川市放課後児童健全育成事業実施要綱の制定について  
教育政策課長から協議資料1のとおり説明があった。

委員：市長部局から教育委員会に来たことによって、やりやすくなるのか。これがこちらに来たのがよかったのか、大変なのか。

教育政策課長：基本的には変わらないと思っている。

委員：どこが最終的に決裁するかという話か。

教育政策課長：そのとおり。ただ、一般的な見え方として、学童を学校の施設、空き教室とかを使ってやるといった時に、教育委員会が事務局をしている方が、連絡調整がつきやすいのではないかと見えるようだが、実務レベルで言うと変わらない。

その他意見はなく、承認された。

- (2) 掛川市立大東学校給食センター及び大須賀学校給食センター調理等業務委託における公募型プロポーザルの実施について  
教育政策課長から協議資料2のとおり説明があった。

委員：業者が変わることによって、そこで調理する人たちも変わるということか。

教育政策課長：建前上は運営会社が変わるが、実際には新しい業者もそこで働く人がほしいので、できるだけその職員を再採用してもらおうつもりでいる。

委員：資料の一番下の所に、「地元雇用の調理員がほとんどであり、職を失う方が出ることが予想される。」という言葉があったので、全く新しく変わるのかどうかと思った。

教育政策課長：金額の入札ではなくて、プロポーザルにして業者の提案で選ぶ方式にしているのは、食の安全性の確保と従業員継続雇用についても含めて、審査項目に入れていて、できるだけ今いる方を採用してほしいということを採点に含めるようにはしている。

委員：委託はダイキュウを見ると調理補助の企業だが、そうすると食材を購入したり、食器の洗浄をやったり、当然栄養士が付いていると思うが、栄養士も今はダイキュウがやっているのか。

教育政策課長：栄養士は県の職員を置いている。

委員：それは全然変わらないのか。

教育政策課長：変わらない。

委員：食材とか給食センターの管理であるとかを委託業者がやるのか。

教育政策課長：調理とか洗浄は業者がやる。食材の購入はうちでやっている。

委員：そうすると 44,722 千円は、どこまでの予算になるのか。

教育政策課長：人件費も含めた調理にかかる費用である。

その他の意見はなく、承認された。

- (3) 平成 31 年度掛川市立公立学校運営協議会委員の委嘱について  
教育政策課教育政策係指導主事から協議資料 3 のとおり説明があった。

委員：委員は議員でもやれるのか。

教育政策課指導主事：やっている。

委員：学校運営にこの人たちが関わってくるわけで、例えば、これから 3 年間の試行期間を経て、いろいろとやり方を確立していくと思うが、校長先生方は、このイメージについて研修会とかはやっているのか。

教育長：前任の山田教育長の時から、これに代わっていくということを、徐々に方向を示しながらきていて、私が教育長になってからも一年かけて説明をしてきた。学校の運営に地域の方々が関わると言っても、最終的には校長がある程度決めていく部分がほしいので、学校評議員のメンバーがそのまま今年度の学校運営協議会委員に移っている学校がほとんどである。事務局は学校側となるので、司会進行等も校長が仕切るような形でこの 3 年間やる。地域の方も区長会が出てくる所もあれば、まち協が出てくる所もあって、この前の月曜日に行われた中学校区学園化推進連絡協議会でも、学校と連携を深めるにはまち協だという話も出てきていて、そことうまくやれるように、双方向で、ウィンウィンの関係になるようにまちづくりの方でもそういう話をしてくれている。人事のことなどで、校長会でも心配したが、基本的にはそこは言わない。課題となることは言ったとしても、先生個々の人事のことについては話さないということで、了解を得ながらきている。

委員：人数は何人までか。

教育長：15 人まで。

委員：そこまで置く学校と置かない学校がある。

教育長：校長たちの心配は先ほど言ったようにあったが、評議員から移行しながらいくので、その間に、いろいろ学校再編の関係とか、もっと大きな問題が出てくるのではないかと思う。

その他の意見はなく、承認された。

- (4) 平成 31 年度「かけがわ教育ディスカッション」について  
教育政策課教育政策係指導主事から協議資料 4 のとおり説明があった。

意見はなく、今年度のテーマは、資料記載の案のとおり「学校の働き方改革について」とする。

- (5) 平成 31 年度掛川市就学支援委員会委員の委嘱について  
学校教育課長から協議資料 5 のとおり説明があった。

意見はなく、承認された。

- (6) 平成 31 年度掛川市特別支援教育専門家チーム会議・連携協議会委員の委嘱について  
学校教育課長から協議資料 6 のとおり説明があった。

意見はなく、承認された。

- (7) 平成 31 年度掛川市立小中学校の教育課程について  
学校教育課長から協議資料 7 のとおり説明があった。

委員：5月の10連休のしわ寄せで、休みが減ることはあるのか。夏休みの始まりがどの学校も遅い。夏休みが1ヶ月くらいしかない。

学校教育課長：10連休がなければ、もう少し前に始まりを持っていけたが、それができなくなってしまった。冬休みは多少遅くはできた。結局10連休が響いて、日数を確保するために、夏休みの入りは例年とそんなに変わらない。

教育長：去年熱中症の関係で、登下校の心配があつて、なるべく早く夏休みを入れる方向でいたが、この10連休の話が出てきて、結局また元に戻った。

委員：今度、2月23日は天皇誕生日で休みになる。

学校教育課長：10月22日も休みになる。今年度は祝日が多くなっている。

委員：総時間数が、例えば小学校6年で1,015時間、5年生で1,017時間とか、年間授業日数が205日なので、特別活動も含めると一日平均で5時間くらいある。これに行事が加わり、児童・生徒にとっては負担が大きい。働き方改革と言うが、授業時間数を減らさないと働き方改革にならない。学習指導要領を変えなければ働き方改革はできない。小学校は予定どおりきっちりとやるのか。

学校教育課長：予定どおりやる。

委員：実績を見るとほとんど変わっていない。

その他意見はなく、承認された。

- (8) 吹奏楽部の持続可能な部活動の在り方について  
学校教育課長から協議資料 8 のとおり説明があった。

教育長：今年度に入ってから、2校の校長から困ったということで話があった。指導者がいないということとか楽器の問題、かなり高額な物を購入して高校でまた使えればいいが、そうでない子どもの理由はいろいろだと思うが、今年高校に入学した子どもの入部の状況を見ても、そういう状況があることを校長から聞いた。NPO法人の支援協会が立ち上がるということで、未来創造部の方々、ふじのくにの方がメイン。一つモデル校を作って実際にやってみようということで、このような案が検討委員会を経て上がってきた。2022年に吹奏楽部のどこか1校は地域部活に移行する。ただ、移行する時に実際やってみないとわからないが、他の学校の生徒でも参加ができる。自分の学校に吹奏楽部があつても、そちらは入らずに地域部活の方へ参加してもいい。そういった門を広げて、専門の方に教えてもらう。保護者の送り迎えの負担はあるが、場所は今のところ生涯学習センターを交渉していて、そこが取れ

れば、そこへ常時楽器も置いて、この活動ができるようにしていくよう進めているところ。それで検証していく。

委員：私の子どもも中学3年間吹奏楽をやっていて、高校に入ってやらないと決めた。なぜかと聞いたら、中学校に入る時も高校に入る時もそうだが、楽器の選定ができない。楽器を買ったにも関わらず、その楽器が使えない。特に高校に行った時に、高校の部活で吹奏楽をやらない今年の子たちに聞くと、やはりできないのと、レベルが上がったところで、また一から違う楽器をやり始めなければいけない。学校の勉強とそれが両立できるかという不安から、まず選択肢として部活を変えようとなるということに、5人から聞いて5人とも同じだった。高校に入って今までと違う所の不安と、親から買ってもらった楽器が使えなくて、また親に買ってもらうなければならなくなるという負担で、うちの子は最終的にやめた。買う買わないはまた考えれば済むことだが、そこが大きくある。他の部活に比べて吹奏楽は確実に金額が高いので、どの親御さんも困っている姿を見る。うちの子はサクスをやっていたので、他にサクスをやりたい子がいて、楽器がなければ譲ってもいいという話はする。そういうふうにもうまく繋げていければいいかとは思っているが、その辺が他の部活と吹奏楽は違う。

教育長：指導者がいないのは大きい。親は子どもが入れば、ある程度大会へ出て活躍することを望むので、その負担がかかってしまう。指導できる方がいればいいが、なかなかそれがない。今2校困っている。

委員：生涯学習センターでやるということは、基本的に北部の学校が中心でということか。

教育長：そのとおり。南部は、いきいきわくわくクラブを大須賀中央公民館でやっている。中体連もそうだが、一つの学校であれば、大会に出るには、一つの学校でしか出られないが、学校と学校でチームを組んで編制してというと、地区大会には出られるが、上位の県大会や全国大会には出られない。文化部も同じようにそういうところがあるので、考証をしていく期間としたい。

委員：まずはその枠を崩さないといけない。

委員：地域教育とか社会教育の方に、こういった運動的なものとか文化的なものを、段々移していけないといけない。学校だけでは先生方の負担も多すぎてしまって大変だと思う。そういう流れをこういうものを使ってやってくればありがたいと思う。

その他の意見はなく、承認された。

- (9) 掛川市公民館運営審議会委員の委嘱について  
社会教育課長から協議資料9のとおり説明があった。

意見はなく、承認された。

- (10) 掛川市吉岡彌生記念館運営委員会委員の任命について  
社会教育課長から協議資料10のとおり説明があった。

意見はなく、承認された。

- (11) 掛川市文化財保護審議会委員の委嘱について  
社会教育課長から協議資料11のとおり説明があった。

意見はなく、承認された。

- (12) 掛川市図書館協議会委員の委嘱について  
図書館長から協議資料 12 のとおり説明があった。

委員：公募は一人出ただけか。

教育長：3人出た。面談をして一人に決めた。3人とも優秀な方だった。

その他意見はなく、承認された。

- (13) 平成 31 年度掛川市立幼稚園の教育課程について  
こども希望部長から協議資料 13 のとおり説明があった。

委員：中幼稚園が 90 名の定員で 19 名。市全体もこの前見た時に 50% くらいだった。みんな保育園へ行ってしまう。

こども希望部長：全体では、まだ幼稚園の方が、若干割合としては高い。これから無償化のこともあるので、近い将来逆転してくるのではないかと思う。

教育部長：幼稚園の子の方が、まだ多いのか。

こども希望部長：3歳から5歳だけで見ると幼稚園の方が多い。

委員：昔は祖父母がいる場合は、保育園はだめで幼稚園だけだったが、今は祖父母がいてもいいと条件を下げたので、あえて幼稚園の途中から保育園に変わる人もいる。それがいいか悪いかはまた別としてだが、そういうふうになればするだけ、預かってくれるなら、保育園へ流れていくことは目に見えていた。

その他の意見はなく、承認された。

## 5 報告事項

- (1) 平成 31 年度教育委員会の事務分掌等について  
教育政策課教育政策係長から報告資料 1 のとおり報告があった。

委員：ろう人形の管理は、特別そこに人が付くわけではないのか。

図書館長：専門で付くことはない。ただ、学芸員が一人図書館にいるので、手が空いた時には対応をするが、仕事の関係で常時というわけにはいかない。

- (2) 掛川市内小中学校のあらわれについて  
学校教育課長から報告資料 2 のとおり報告があった。

- (3) 平成 31 年度掛川市公立小中学校図書館について  
学校教育課長から報告資料 3 のとおり報告があった。

- (4) 平成 30 年度社会教育課所管施設の利用状況について  
社会教育課長から報告資料 4 のとおり報告があった。

- (5) 平成 30 年度掛川市立図書館利用状況について  
図書館長から報告資料 5 のとおり報告があった。
- (6) 平成 31 年度掛川市立図書館月別事業計画について  
図書館長から報告資料 6 のとおり報告があった。
- (7) 平成 31 年度移動図書館車巡回予定について  
図書館長から報告資料 7 のとおり報告があった。
- (8) 掛川市立幼稚園評議員の報告について  
こども希望部長から報告資料 8 のとおり報告があった。

## 6 その他

- (1) 次回以降教育委員会定例会の日程について

- ア 教育委員会 5 月定例会  
令和元年 5 月 29 日（水） 午後 3 時  
掛川市役所南館 教育委員会室

- イ 教育委員会 6 月定例会  
令和元年 6 月 25 日（火） 午後 1 時 30 分  
掛川市役所南館 教育委員会室

- (2) その他の予定について

- ア 平成 31 年度静岡県市町教育委員会連絡協議会総会  
令和元年 5 月 8 日（水） 午後 1 時 15 分開会／午後 4 時閉会  
ホテルオーレ（藤枝市） → 戸塚委員出席

- イ 教育委員辞令交付式  
令和元年 5 月 17 日（金） 午後 3 時 55 分  
掛川市役所 5 階 市長応接室

- ウ 教育委員会歓送迎会  
令和元年 5 月 29 日（水） 午後 6 時 30 分  
パレスホテル掛川

- エ 平成 31 年度関東甲信越静岡市町村教育委員会連合会総会及び研修会（山梨大会）  
令和元年 5 月 31 日（金） 受付：午前 12 時／開会：午後 1 時／閉会：午後 4 時 20  
山梨県北杜市 女神の森セントラルガーデン → 永田委員・橋山委員・岩尾委員出席

- オ 浅井前副市長への感謝の集い  
令和元年 6 月 7 日（金） 午後 6 時 30 分  
掛川グランドホテル 3 階 シャングリラスイート

## 7 閉 会

教育長：教育委員会 4 月定例会を閉会する。